11・12月

学校支援ネットワーク本部　トピックス

～出前授業情報をお送りします～

複数の学校で、職場体験に代わるものの一つとして、「小・中学生のハローワーク」が計画されました。すでに終了した学校の事例を紹介します。

これまで実施されていた中学２年生の職場体験学習が、コロナ禍で実施不可能となりました。それに代わるものとして、外部からいろいろな職業の方をお招きし、各学校が注意を払い教室環境を整えながら、仕事の紹介、苦労談、やりがい、喜びなどについて少人数で直接お聞きするハローワークが計画・実施されています。

ここではすでに終了した吾嬬立花中学校での様子をお伝えしながら、準備段階でのご苦労、実施後の生徒の様子等ご紹介する中で、疑問点にもお答えしたいと思います。
なお小学校のキャリア教育にも活用できます。

☆♪☆♪☆♪☆♪☆♪☆♪☆♪☆♪☆♪☆

終了後の先生のアンケート･感想から･吾嬬立花中学校･名倉隆雄先生

今回、本校は職場体験の代替としてこの「校内ハローワーク」と「都内巡り」を企画しました。７月の計画の段階では「数年来職場体験でお世話になっている地域の方々を『飛び越えて』区の支援センターにすべてお願いしては地域の方々に失礼になってしまうので、まず地元の方にお願いして「校内ハローワーク」の講師を紹介してもらうとよい」というご指示を校内でいただいたため、地元の方に講師の紹介をお願いしました。

☆学校支援ネットワーク本部（以後支援本部）の基本的な考え方の一つとして、“学校と地域を結びつける役割を担う”ということがあります。それは、多忙な先生方から、講師を探し、了解をえるという繁雑な仕事を代わって行い、地域の方が学校に入って、子どもたちのために協力し合う機会を作るということです。学校がすでに地域とのパイプがあるのであれば、それを活用していただくのが一番！と考えます

一方職業講話で必須と考える警察、消防に関しては、すでに学校支援ネットワークの名簿に警察・消防が含まれており、「支援本部に連絡せず学校が単独で講師の依頼をしないこと」という約束があるため、単独の講師依頼が頓挫しかけ、８月中旬に支援本部にご相談したところ、学校単独に招いた講師と支援本部でご紹介いただく講師とで混成してもよいというお話しをいただき、依頼した９種の職業について９月上旬に紹介していただくことができました。

☆学校によっては、前年度お願いしたから今年は直接お願いしようと連絡をされることもありますが、基本的に支援本部からご紹介した講師は、次年度も支援本部を通していただきたいと思います。支援本部から他の組織を通して依頼することもあり、その場合所属の組織を抜きにしていいのかと講師の方が不安に思ったりするためです。ただし、前年度やっていただいてよかったから今年も是非という場合には、講師名をお知らせください。具体的なリクエストがあった方が支援本部としても動きやすいのです。

当日まで、生徒は事前学習の段階から意欲的に取り組みました。１７の職業の中から生徒に聞きたい職業を５つ選ばせ、そして第１～３講座まで３つに絞って受講しました。ほぼ全員が希望した職種を受講することができたため、大変意欲的に取り組むことができました。

それぞれの講師の方々が、仕事について大変よいお話をしてくださり、生徒たちは職業について大いに触発されたと思います。生徒は真剣に話を聞いてメモをとり、３０分の講話のあと５分間の質問時間では積極的に質問する姿が見られました。５校時に書いた生徒たちのお礼状からも大変よい授業だったことが伝わってきました。

☆先生方の丁寧な事前指導や聞きたい講座の調整の成果だと思います。生徒たちの真剣に取り組む姿に、先生方のご苦労は消えていったことでしょう。

このようなお話しを届けてくださり、私たち支援本部一同もとてもうれしく思っています。

今回実施させていただき、支援ネットワークでお世話になった多彩な講師の方々と、「ぜひ吾嬬立花中の生徒に話をしたい」という地域に思い入れのある方々、個人的な「つて」でいらした方々の貴重なお話を伺い、生徒にとっては大変有意義な授業になったとありがたく思っております。

１学年の教員からは、「今日様子を拝見していて大変よい授業だった。来年度もぜひ校内ハローワークを実施したい」旨申し出がありました。上記の内容を踏まえ、生徒にとってよりよい進路学習となるよう来年度に向けて引き継ぎしたいと思います。

☆おかげさまで学校が持っている地域の方々という財産と、支援本部が持っている多数のボランティアの方々という財産がうまく融合して形になったと、本部としてもうれしい限りです。さらにその形が学校に根付き、すべての子どもたちがいい機会と巡り会えたらすばらしいと思います。

生徒の感想から

三須さんは人事部の仕事をしているとのことで、とても説明力があり惹きつけられました。三須さんが言っていたとおり、人の信頼はとても大切だと思いました。資料がとてもわかりやすくメモをとろうとした内容がすべて入っていて、とても完璧な資料だと思いました。私も将来、期待されるような信頼できる人になりたいと思います。

三須さんがしてくださったお話しの中でも、信頼関係を築くこと、日頃からのコミュニケーションが大事ということを何度もおっしゃっていたので、本当にこの二つを特に大事に思っているのだなと思いました。また、それは私たちの人間関係の中でも大事なことなので、改めて学ぶことができました。

私は母が東京東信用金庫で働いているので、興味を持ち、金融についてのお話を聞きました。金融の仕事は、お客様との信頼関係を築くことが大切なのだと知ることができました。仕事のことだけでなく、学生の私たちへのアドバイスもくださり、大変参考になりました。社会の信頼関係を築くには、当たり前のことを積み重ねていくことが大切だと聞いて、私も日頃から当たり前のことをしっかりしていきたいと思いました。母にもひがしんのことを聞いてみたいと思います。

春原さんは、途中、色にはパワーがあるとおっしゃっていましたよね？最初私はそれを聞いたとき、本当に色にパワーなんてあるんだろうかと少し疑問に思いました。ですが、春原さんの沢山の例で、よくわかりました。特に裁判官の服の色についてすごく理解できました。黒という色は何色にも染まることはない、だから裁判官の服の色も公平さを保っているという話で私はびっくりしました。裁判官の服の色や、ファーストフード店の看板の色やロゴなど、今まで気にしていなかったものを春原さんのお話を聞いたとたん、すごく興味を持ちました。私は春原さんも含め三人の方のお話を聞きましたが、どれも共通していることは、その仕事を楽しむということでした。お話ししてくださっていた方々は皆さんとても楽しそうでした。コロナの影響も沢山出ていると思いますが、お体に気をつけてお仕事をなさってください。

今日は学校に来てお仕事の話を詳しく教えていただきありがとうございます。今の年頃になるとおしゃれやファッションなどという言葉が聞かれますが、あまり正直興味がありませんでした。しかし話を聞いて思ったことは、服装は自分がよければいいと思ったことです。友達や親戚の人に「服ダサい」などいわれても、自分がよければおしゃれ、ファッションになるのだと思いました。最近自分はジーンズを気に入っていて自分がよいと思ったので、オシャレだと感じています。

今日はコンビニと聞いて店員さんが来てくださるのかなと思っていましたが、店長さんが来てくださってびっくりしました。コンビニは私たちの身近にあって、お客さんから見えている仕事だと、品出しやレジ、掃除だと思っていましたが、私たちお客さんから見られていない部分でパソコンを使って発注などをしているということを今回の話を聞いてわかりました。普段私たちの知らないところでパソコンを使った作業などをすんなりこなして、その上に、近所の小学生やおじいちゃん、おばあちゃんたちへの優しい対応を忘れないというサービス精神が、本当にすごいなと私は思いました。

稲福さんのお話を伺い、僕はコンビニへの考え方が変わりました。コンビニは本社が作った工場で正社員がコンビニでアルバイトを雇って、正社員の監視の下で働くものと思っていました。ですが本当は、本社との契約をして仕事にしている自営業だと知り、驚き、また自分もやってみようと思いました。そしてこの知識は僕の視野を変えるものでした。またコンビニからどんな条件で雇われ、どういった仕事があるのかがわかりました。これも僕を一歩成長させてくれた知識でした。

【問合せ】墨田区教育委員会　地域教育支援課　学校支援ネットワーク本部
担当　NPO 法人　スカイ学校支援ネットワークセンター（5608）1303